

入学式に代えて ～75期生へのメッセージ～

「令和2年度 第1学年に文理学科360名の入学を許可します」

令和2年4月8日 大阪府立四條畷高等学校長 稲葉 剛

75期生360名の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員一同、皆さんを心から祝福し歓迎します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入学式が中止になり、この日を心待ちにしてきた新入生の皆さんや保護者の皆様には大変心苦しく申し訳なく思っています。現在の状況を鑑み、ご理解、ご容赦くださいますようお願いいたします。

本校は、明治三十六年、旧制四條畷中学校としてこの地に生まれ、今年で創立117年を迎える歴史と伝統のある高等学校です。創立以来の教育方針として『質実剛健』『文武両道』を掲げ、「自主・自律・自由」の精神を育んできました。卒業生は3万人を優に超え、あらゆる分野で、また世界中のいたるところで活躍し、しかも各界のリーダークラスとして社会に貢献しています。

現在は、大阪府のグローバル・リーダーズ・ハイスクール（GLHS）として9年目を迎え、文部科学省からはスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）などの指定も受け、将来、科学者やグローバル・リーダークラスとして国際的に活躍できる人材の育成をねらいとし、様々な教育活動を展開しています。そして、今年度皆さんの入学により、1年生から3年生までがオール文理学科となりました。

本校では、『質実剛健』『文武両道』の伝統の下、「二兎を追ひ、極める」ことができるよう生徒たちが頑張っています。90数%の生徒が、部活動で活躍し、進路でも昨年度は、京都大学・大阪大学・神戸大学に合わせて81名、国公立大学には198名が合格しました。しかし、難関大学合格は高校生活の目標ではあっても目的であってはなりません。高校生活3年間で、自分自身を磨くこと、高めることが一番の目的であることを忘れないでください。

入学に際し、皆さんに大切にしてほしいことが2つあります。

一つ目は「広い視野をもち柔軟な発想をすること」です。

いま、社会では、AI（人工頭脳）やSNSなど、情報通信技術が急速に進歩するとともに、少子高齢化など様々な課題が山積しています。

では、そのような社会で必要とされる力は何でしょうか？

「進化論」で有名なチャールズ・ダーウィンは、「生き残る種とは、最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化に対応できる者である。」と述べています。この言葉は、「現代社会の急速な変化に対応するためには、過去の価値観や固定観念にとらわれずに、広い視野と柔軟な発想を持つことが大切である」ことを示唆してくれています。

2つ目は、一人一人を尊重する気持ちです。

「ころころ」はだれにも見えないけれど「ころづかい」は見える。

「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える。

これは宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の一節です。

今日から始まる高校生活の中で、ぜひ皆さんの「心」や「思い」を「心づかい」や「思いやり」という目に見える形にして友達や先生に届けてください。多様性の大切さが薄れ、人の顔が見えにくくな

っている今であるからこそ、一人ひとりの違いを認め、それを尊重する気持ちを大切にしてください。そうすれば、新しい友達や先生との出会いは皆さんにとって素晴らしいものとなるはずですよ。さあ、今日から皆さんは暁高生です。

暁高での新しいステージは、まさしく変化、CHANGEの時です。しかし、CHANGEを恐れる必要はありません。CHANGEのスペルのGの部分を変えるとどんな単語になりますか？ CHANGEはCHANCEに変わります。変化の時こそ自分自身を高める好機なのです。皆さんには無限の可能性が 있습니다。「質実剛健」「文武両道」を旨とし、目標を高く掲げ、CHANGEのGをCに変えてください。私たち教職員は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい可能性をさらに伸ばしていけるように全力でサポートしていきます。皆さんが頑張っている姿はいつも誰かが見守ってくれていること、いつも誰かが支えていてくれることを決して忘れないでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点で、共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴らしいものになることを祈念しています。

令和2年4月8日
大阪府立四條暁高等学校
校長 稲葉 剛